

「ものづくり大会」弘前の2人 佐藤さん・清藤さん敢闘賞

「ものづくり大会」弘前の2人

佐藤さん・清藤さん敢闘賞

電気工事 建築大工 高度な技能発揮

8月に愛知県で開催された「第12回若年者ものづくり競技大会」で、津軽地方から青森職業能力開発短期大学校電気エネルギー制御科2年の佐藤万季人さん(20)と弘前市と、県立弘前高等技術専門校建築システム工学科2年の清藤優治さん(19)が敢闘賞を受賞した。(石田紅子)

電気工事職種で敢闘賞を受賞した佐藤さん



建築大工職種で敢闘賞を受賞した清藤さん



大会は厚生労働省、年者ものづくり技能を向上と人材育成を目的に、名古屋を主会場に開催される。今年3、4日に、東北以下15職種に毎年開催されている。全国から15職種

に443人が参加。本藤さんは「金属管を曲げ、加工組立を行う建築大工職種で入賞。参加者は本県から2人、全体で44人だった。同職種の課題は年々難度を増しているとい

い、今年は受け材を斜めに組み込む技術が新たに問われた。大工のある祖父に憧れて大工の道を目指したという

清藤さんは「挑戦してみたかった大会に出ることができたし、結果も残せて頑張ったか良かった」とし、将来は「立派な大工になりたい」と話した。この他本県関係では十和田工業高校電気科3年の小笠原舞人さんが電気工事職種で銀賞に輝いた。

佐藤さんは本県から3人、全体で29人が参加した電気工事職種で入賞。同職種は制限時間3時間以内に、木製盤(立面パネル)上に図に示す木造小屋組の一部の現寸図を作成し、木こしらえ、墨付

仕様に基づいた電気配線工事を行う内容。佐藤さんは「金属管を曲げ、加工組立を行う建築大工職種で入賞。参加者は本県から2人、全体で44人だった。同職種の課題は年々難度を増しているとい

に443人が参加。本藤さんは「金属管を曲げ、加工組立を行う建築大工職種で入賞。参加者は本県から2人、全体で44人だった。同職種の課題は年々難度を増しているとい

い、今年は受け材を斜めに組み込む技術が新たに問われた。大工のある祖父に憧れて大工の道を目指したという

※この画像(記事)は、陸奥新報社提供です。無断転載はできません。